

総務文教常任委員会資料

令和6年3月5日

まちづくり政策部

企画政策課

【目 次】

1 令和5年度 加東市の公共交通施策に係る取組状況について ····· 1 ページ

令和5年度 加東市の公共交通施策に係る取組状況について

1 路線バスの維持・確保及びルート等の見直し 計画書 p.96～97

(1) 神姫バス社三田線のルート変更

令和5年4月1日から、神姫バス社三田線の久米経由が厚利経由に変更となった。

乗降調査の結果、当該変更ルート分で1日当たりの乗降者数は約15人の増加となった。

(2) 神姫バス天神電鉄小野駅線について

神姫バス天神電鉄小野駅線のあり方について、利用者及び運行事業者と協議を実施した結果、令和6年度については運行を継続することとした。

2 社市街地乗合タクシーの維持・拡充 計画書 p.98

(1) 令和5年12月1日付でルート変更を実施

新たに開業したホテルルートイン加東の利用者の移動手段確保のため、停留所にホテルルートイン加東を追加し、滝野社インターを発着する高速バスと接続すること目的にルート変更を実施した。

(2) 令和6年4月1日付でルート変更を実施予定

運行の効率化、移動手段の確保及び利用者数の増加を図るために、ルート・ダイヤ等の見直しを実施する。

【社市街地乗合タクシー「伝タク」の利用状況】

	令和2年度 7月～12月	令和2年度 1月～3月	令和2年度計	令和3年度	令和4年度	令和5年度 4月～11月	令和5年度 12月～1月	令和5年度計
概要	7便/日 13停留所	5便/日 16停留所		5便/日 16停留所	5便/日 16停留所	5便/日 16停留所	5便/日 17停留所	
運行日数	122日	60日	182日	243日	246日	164日	39日	203日
利用者数	423人	228人	651人	1,138人	1,815人	1,452人	397人	1,849人
1日当たりの 利用者数	3.47 人/日	3.80 人/日	3.58 人/日	4.68 人/日	7.38 人/日	8.85 人/日	10.18 人/日	9.11 人/日

3 自家用有償旅客運送（自主運行バス）の維持・拡充 計画書 p.99

米田ふれあい線について、神姫バス社三田線の運行ルートの変更により、運行ルートの重複が解消されたため、「米田ふれあい会館」～「加東市役所」までの区間で設けていた利用制限を解除した。これにより、米田ふれあい線利用者の利便性が向上した。

加えて、久米・上久米・下久米地区への運行拡大について協議を実施した結果、見送りとなつた。

また、安全で確実に運行するため、運行会議で運行上の注意事項等を確認するとともに、加東警察署交通課による安全運転講習や、運行時に講師が同席し、運転技術等の確認を行う運転者講習を実施している。

【自家用有償旅客運送各路線の利用状況】

米田ふれあい線 (4便／日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4月～1月)
運行日数	146日	143日	146日	120日
利用者数	896人	706人	634人	603人
1日当たりの利用者数	6.14 人/日	4.94 人/日	4.34 人/日	5.03 人/日

きよみず線 (6便／日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4月～1月)
運行日数	97日	99日	99日	81日
利用者数	399人	529人	680人	560人
1日当たりの利用者数	4.11 人/日	5.34 人/日	6.87 人/日	6.91 人/日

とうじょうあいあい線 (4便／日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4月～1月)
運行日数	97日	99日	99日	81日
利用者数	269人	299人	412人	252人
1日当たりの利用者数	2.77 人/日	3.02 人/日	4.16 人/日	3.11 人/日

福田ふくふく線 (4便／日)	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (4月～1月)
運行日数	143日	148日	121日
利用者数	615人	798人	702人
1日当たりの利用者数	4.30 人/日	5.39 人/日	5.80 人/日

4 地域の実情に応じた新たな移動手段の確保 計画書 p.100～101

(1) 社東条東自主運行バス（東条学園スクールバスを活用）の実証実験の開始

社・東条東地域間を繋ぐ地域公共交通として、東条東地域及び久米・上久米・下久米地区から社市街地への移動手段を確保することで、市内移動における地域公共交通ネットワークの形成を図ることを目的に、令和5年10月から東条学園スクールバスを活用した定時定路線型運行の実証実験を開始した。

【社東条東自主運行バスの利用状況】

社東条東自主運行バス (6便／日)	令和5年 10月	令和5年 11月	令和5年 12月	令和6年 1月	令和5年度 (10月～1月)
運行日数	13日	12日	11日	11日	47日
利用者数	57人	42人	83人	44人	226人
1日当たりの利用者数	4.38 人/日	3.50 人/日	7.55 人/日	4.00 人/日	4.81 人/日

(2) デマンド型交通の実証実験の開始

地域内における買い物や通院を目的とする移動手段の確保のため、高齢者や障害者等を対象に通常のタクシーを活用し、利用者支援型でのデマンド型交通の実証実験を開始した。

【デマンド型交通の利用登録者数及び利用状況（R6.2.22現在）】

利用登録者数

区分	利用登録者数
特例制度	323人
圏内	73人
圏内（一部1）	2人
圏内（一部2）	1人
圏外	159人
合計	558人

利用件数

区分	令和6年1月
利用件数	261件

(3) 滝野コミュニティバスの導入の検討

滝野地域から社市街地への移動手段を確保することで、市内移動における地域公共交通ネットワークの形成を図ることを目的に、社・滝野地域間を繋ぐ地域公共交通として、滝野コミュニティバスの実証実験の令和6年度中の開始に向けて、地域、交通事業者と協議・検討を行っている。

5 観光地への移動手段の検討 計画書 p.102

沿線協議会各市町等、北播磨県民局と連携し、JR加古川線の沿線ガイドを作成し、観光客の地域公共交通の利用促進に向けて、情報提供を実施した。

6 バスターミナルにおける交通結節点機能の強化 計画書 p.103

新たな交通結節点として、令和4年10月から供用を開始した加東バスターミナルについて、加東バスターミナルに乗り入れる路線バスの増便について神姫バス株式会社と協議を実施した。

【路線バスの乗入便数】

	令和4年度	令和5年度
乗入便数	101便	109便

【観光バスの利用実績】

	令和4年度 (10月～3月)	令和5年度 (4月～1月)
乗入便数	91便	325便
利用者数	1,770人	5,035人

7 交通結節点の利用環境の向上 計画書 p.104

(1) 天神駐輪場

東条バスストップ前停留所付近が自転車の駐輪で煩雜となっており、歩行者の安全を確保するため、天神車庫を借受け、令和5年7月から駐輪場としての活用を開始した。

(2) JR社町駅普通駐車場への防犯カメラの設置

JR社町駅の駐車場利用者の安全を確保するため、駐車場内に防犯カメラを設置する。

(3月工事予定)

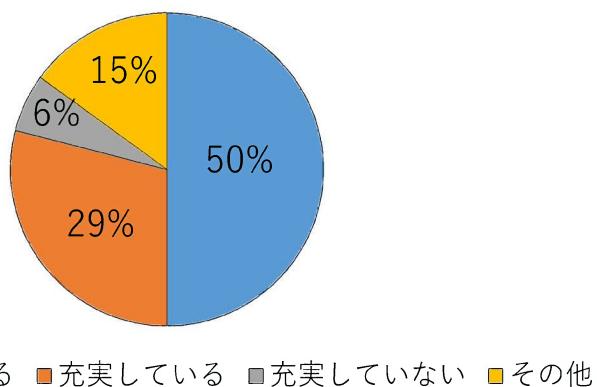
(3) 加東バスターミナル観光バス乗場へのベンチの設置

加東バスターミナル観光バス利用者の利便性の向上を図るため、観光バス乗場にベンチを設置する。(3月工事予定)

8 バスロケーションシステム等を活用した利便性の向上 計画書 p.105

現在、加東バスターミナルに設置しているバスロケーションシステムについて、バスターミナル利用者にアンケートを実施した結果、概ね好評であった。
来年度以降、設置の拡大について検討していく。

施設や設備は充実していると感じるか
【令和5年度まちの拠点施設アンケート】



※割合については端数処理の関係上、合計が100%とならない場合があります。

9 鉄道・高速バスによる広域へのアクセス性の向上 計画書 p.106

- (1) 社市街地乗合タクシー「伝タク」のルート変更による滝野社インターへの接続強化
高速バス利用者及びホテルルートイン加東利用者の移動手段確保のため、滝野社インターを発着する高速バスと接続することを目的に令和5年12月1日にルート変更を実施した。
- (2) 滝野コミュニティバスの導入による接続の強化
JR及び滝野社インターとの接続を重視し、公共交通機関を乗り継ぐことにより、広域な移動を可能とする滝野コミュニティバスの実証実験の令和6年度中の開始に向けて、地域、交通事業者と協議を実施している。

10 タクシーの有効活用 計画書 p.107

令和6年1月から実証実験を開始したデマンド型交通の実証実験の利用状況等により、利用上限枚数の緩和など福祉タクシー事業の見直しを実施していく。

1.1 利用しやすい料金体系の構築 計画書 p.108

令和4年4月に導入した市内一律運賃制度に基づき、市内移動における路線バスの運賃（NicoPaカード利用時のみ）、社市街地乗合タクシー「伝タク」の運賃及び自主運行バス（実証実験中の社東条東自主運行バスを含む）の運賃を一律100円として実施している。

また、市役所及びイオン社店サービスカウンターにおいて、NicoPaカードの販売を行い、公共交通の利用促進に取り組んでいる。

【路線バス一律運賃制度補助金の状況】

	令和4年度 (R4.4～R4.9)	令和5年度 (R4.10～R5.9)
補助金の執行状況	5,503,660円	12,125,600円

1.2 商業施設等と連携した取組 計画書 p.109

令和7年度の実施に向けて、割引券の発行など、地域公共交通の利用促進とまちの活性化、にぎわいの創出に向けて、交通事業者や商業施設利用者等と協議を実施していく。

1.3 モビリティ・マネジメントの継続実施 計画書 p.110

公共交通ガイドブックを3回発行（6月、10月、12月）し、6月版は、全戸に配布した。

また、市内の学校においては、10月17日に加東市立東条学園小中学校の8年生を対象にしたバス・鉄道の乗り方教室、11月28日に加東市立三草小学校の6年生を対象にしたバスの乗り方教室、12月4日に加東市立滝野中学校2年生を対象にした鉄道の乗り方教室を、神姫バス株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社のご協力により実施した。

運賃の確認方法や支払い方法、インターネットでの時刻表の検索など、実際に公共交通を利用する場合に必要となる知識について講義いただいた。

【三草小学校のバスの乗り方教室】

【滝野中学校の鉄道の乗り方教室】

1.4 地域公共交通の維持に向けた体制の強化 計画書 p.111

自家用有償旅客運送の維持・継続を図るため、運転手の確保に取り組んだ結果、運転手1名増えた。また、各地域で年2回の運行会議を実施し、注意事項や異常発生時の対応について共有することにより、人材育成を図った。